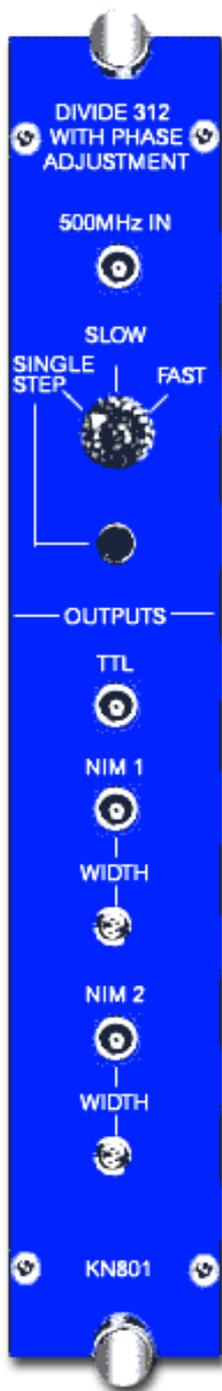


DIVIDE 312 with PHASE ADJUSTMENT



《概要》

- ◆素粒子実験や原子核実験の加速器に使用されている
RF 信号(500MHz)を321分の1の周波数に分周します。
- ◆入力されたRF信号(500MHz)に周期した、1~1/312遅延したタイミングでパルスを出力します。
- ◆出力信号は、TTLレベル 1系統とNIMレベル 2系統(パルス幅可変付)

《仕様》

入力

- ◇周波数：500MHz(サイン波)
- ◇信号レベル：500mV~1V(P-P)

出力

- 1) TTL
インピーダンス：50Ω
信号レベル：2.5V/50Ω 終端時
立ち上がり、立ち下がり時間：3nS以下
パルス幅：約50nS
- 2) NIM1/NIM2
インピーダンス：50Ω
信号レベル：NIM信号(0~-0.8V)
立ち上がり、立ち下がり時間：1.5nS以下
パルス幅可変範囲：10~80nS(50nS)
位相モード：FAST・SLOW・SINGLE・STEP

- ◆入出力のコネクタは標準のレモコネクタを使用しております。
- ◆ケース幅はNIM規格の1幅です。
- ◆消費電流： -6V 約230mA
+6V 約330mA



株式会社 カイズワークス

〒190-1222 東京都西多摩郡瑞穂町箱根ヶ崎東松原9-18

Tel : 042-568-0866

Fax : 042-568-0867

E-mail kaizuwks@kaizuwks.co.jp Homepage <http://www.kaizuwks.co.jp>